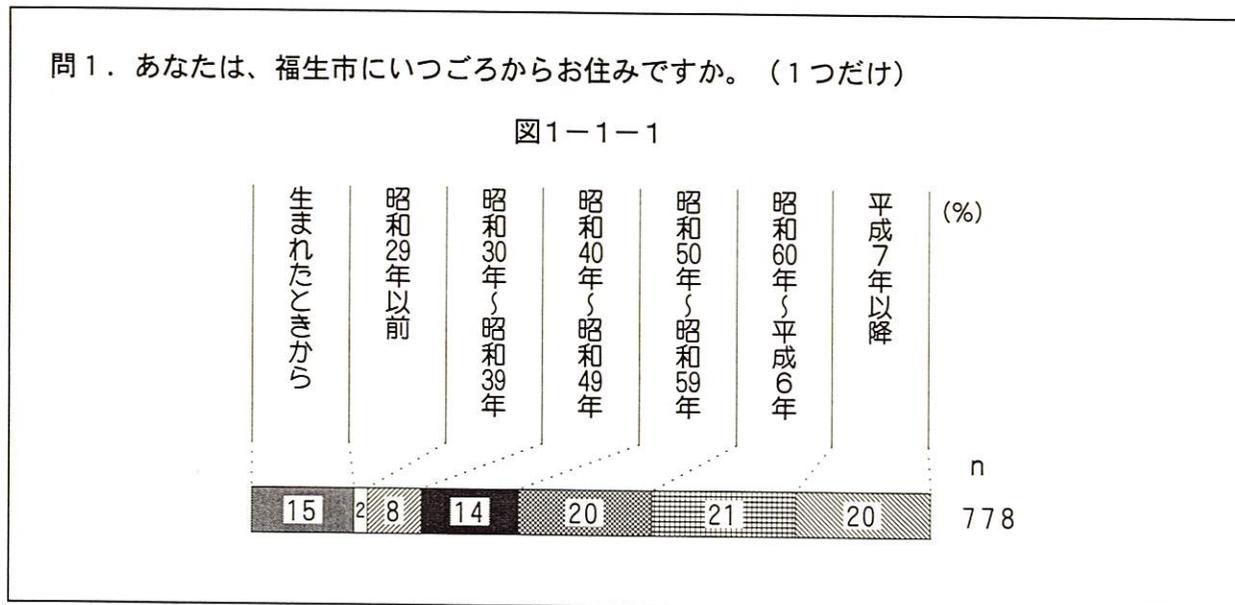


1. 定住意識

1-1. 居住開始時期

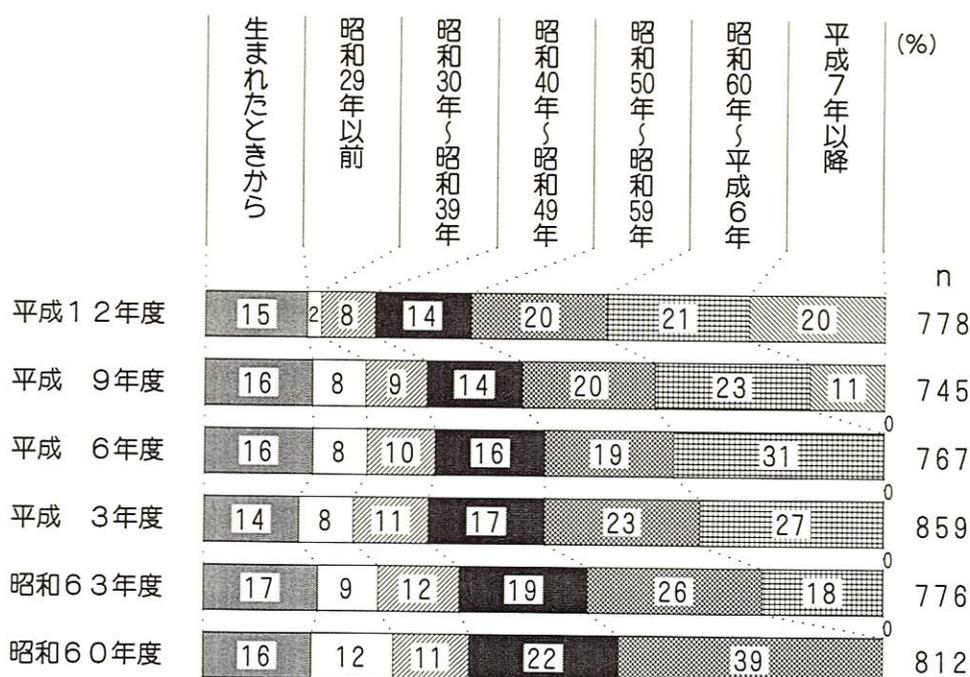


福生市民の居住開始時期は、「昭和60年～平成6年」(21%)と「平成7年以降」(20%)と「昭和50年～昭和59年」(20%)がいずれも2割を超え、「昭和40年～昭和49年」が14%、「昭和30年～昭和39年」が8%、「昭和29年以前」が2%、「生まれたときから」が15%となっている。

(図1-1-1)

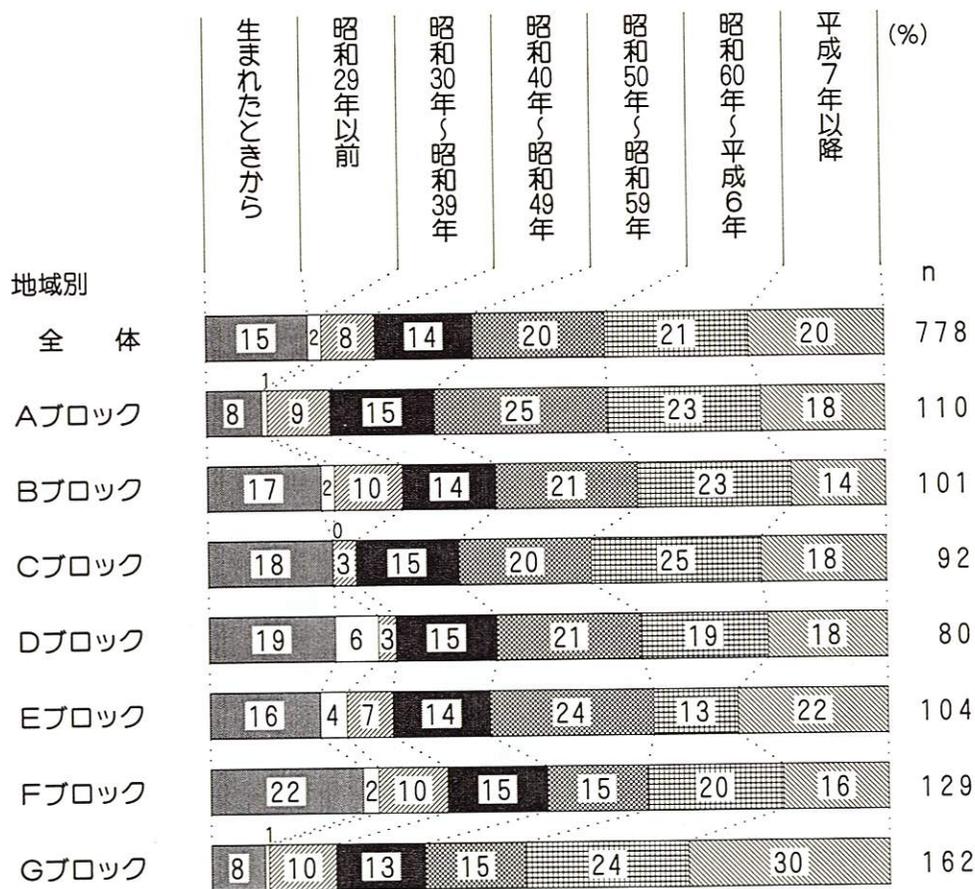
平成9年度の調査と比較すると、「昭和60年～平成6年」と「平成7年以降」を合わせた“昭和60年以降”の割合が7ポイント増加している。(図1-1-2)

図1-1-2 居住開始時期一時系列



地域別にみると、「生まれたときから」がFブロック（22%）で2割を超えている。また、「昭和60年～平成6年」と「平成7年以降」を合わせた“昭和60年以降”がGブロック（54%）で5割を超えており、他の地域に比べて高い割合となっている。（図1-1-3）

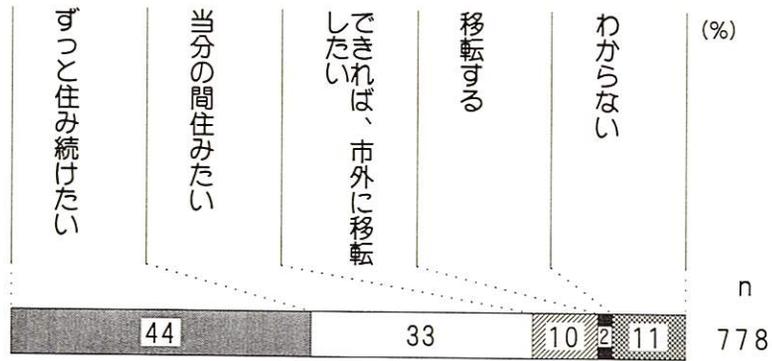
図1-1-3 居住開始時期—地域別



1-2. 定住意向

問2. あなたは、今後も福生市に住み続けたいと思いますか。それとも市外に移転したいと思いますか。(1つだけ)

図1-2-1

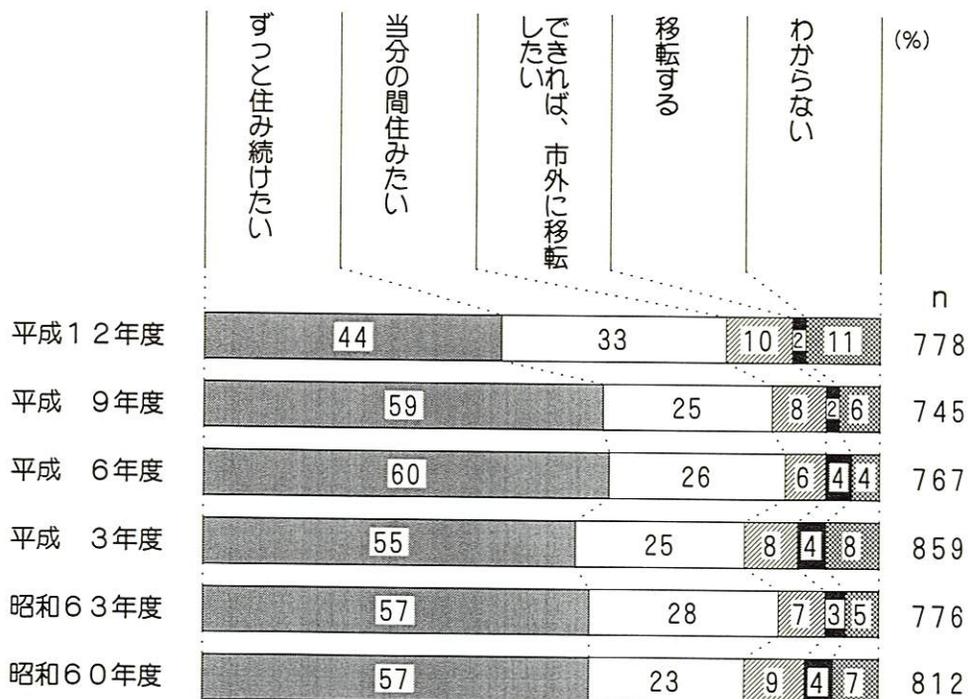


定住意向は、「ずっと住み続けたい」(44%)と「当分の間住みたい」(33%)を合わせた“住み続けたい”が77%となっており、「できれば、市外に移転したい」(10%)と「移転する」(2%)を合わせた“移転したい”の12%を大きく上回っている。(図1-2-1)

平成9年度の調査と比較すると、“住み続けたい”の割合が7ポイント減少している。

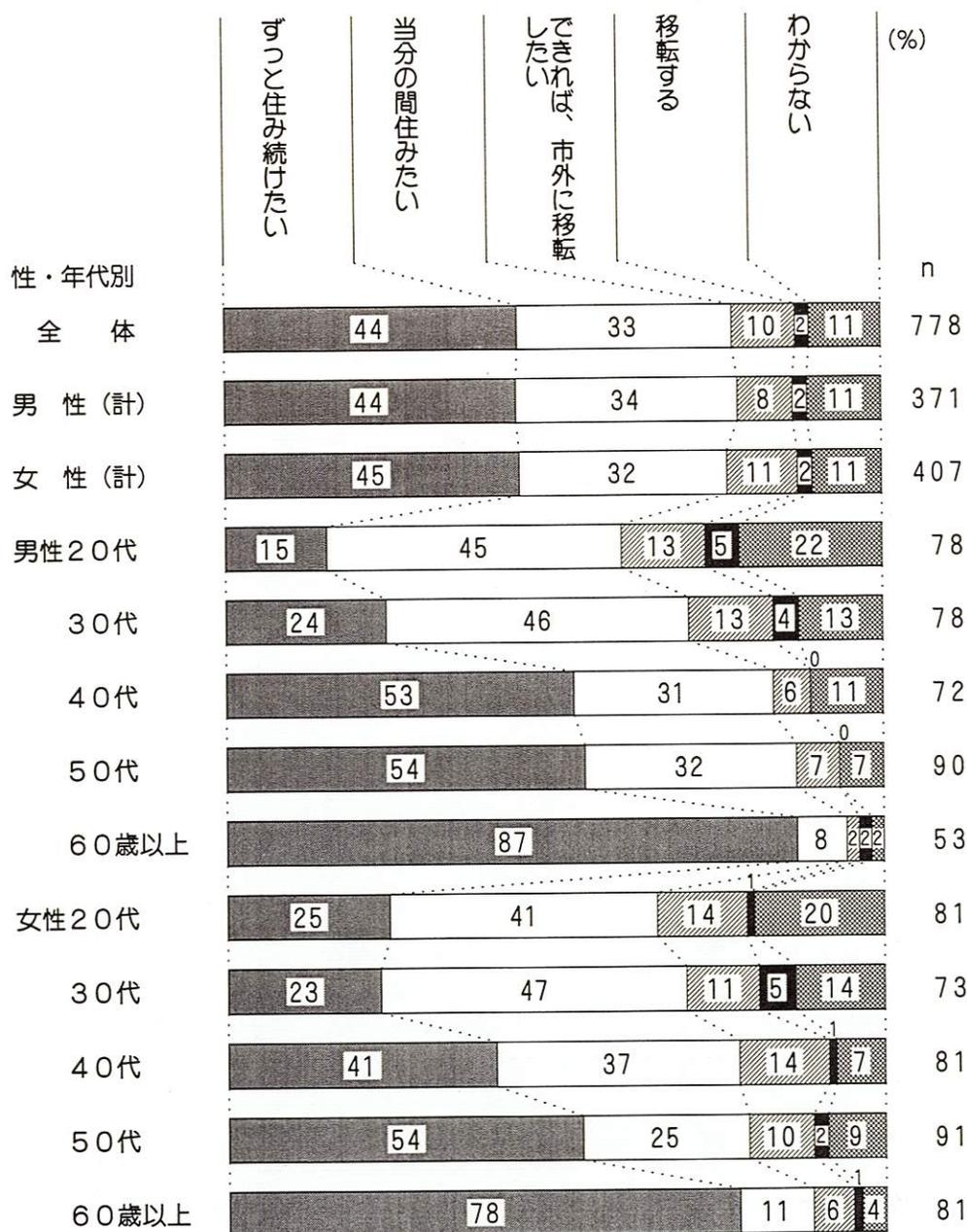
(図1-2-2)

図1-2-2 定住意向一時系列



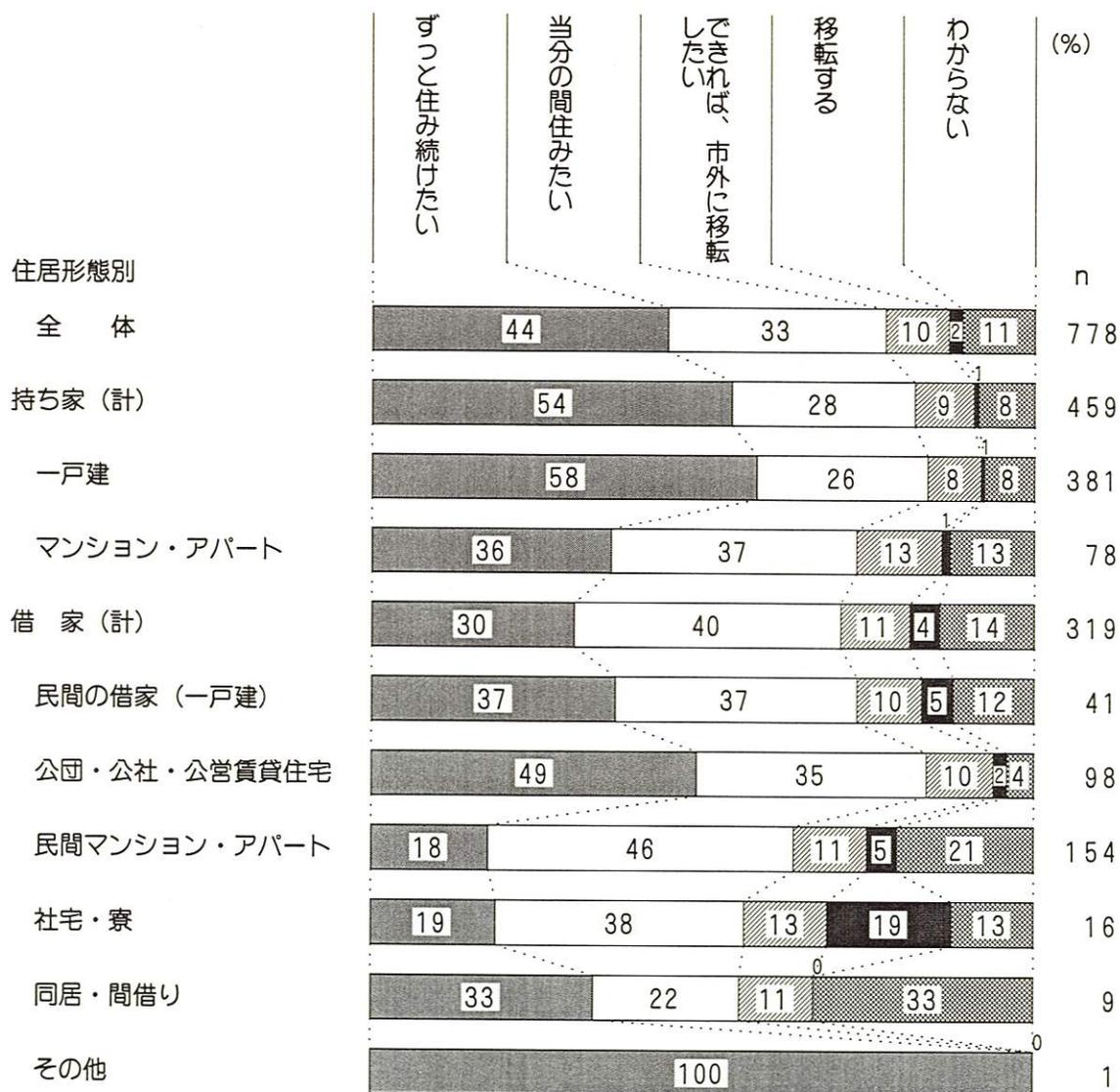
性・年代別にみると、「ずっと住み続けたい」と「当分の間住みたい」を合わせた“住み続けたい”の割合は、年代が上がるにつれて高くなる傾向が見られ、特に男性60歳以上では95%となっている。また、「できれば、市外に移転したい」と「移転する」を合わせた“移転したい”は、男性の20代(18%)と30代(17%)が多く約2割を占めている。(図1-2-3)

図1-2-3 定住意向—性・年代別



住居形態別にみると、「ずっと住み続けたい」と「当分の間住みたい」を合わせた“住み続けたい”の割合は、持ち家の一戸建（84%）と公団・公社・公営賃貸住宅（84%）で高くなっており、8割を超えている。また、「できれば、市外に移転したい」と「移転する」を合わせた“移転したい”が社宅・寮（32%）で3割を超えている。（図1-2-4）

図1-2-4 定住意向－住居形態別

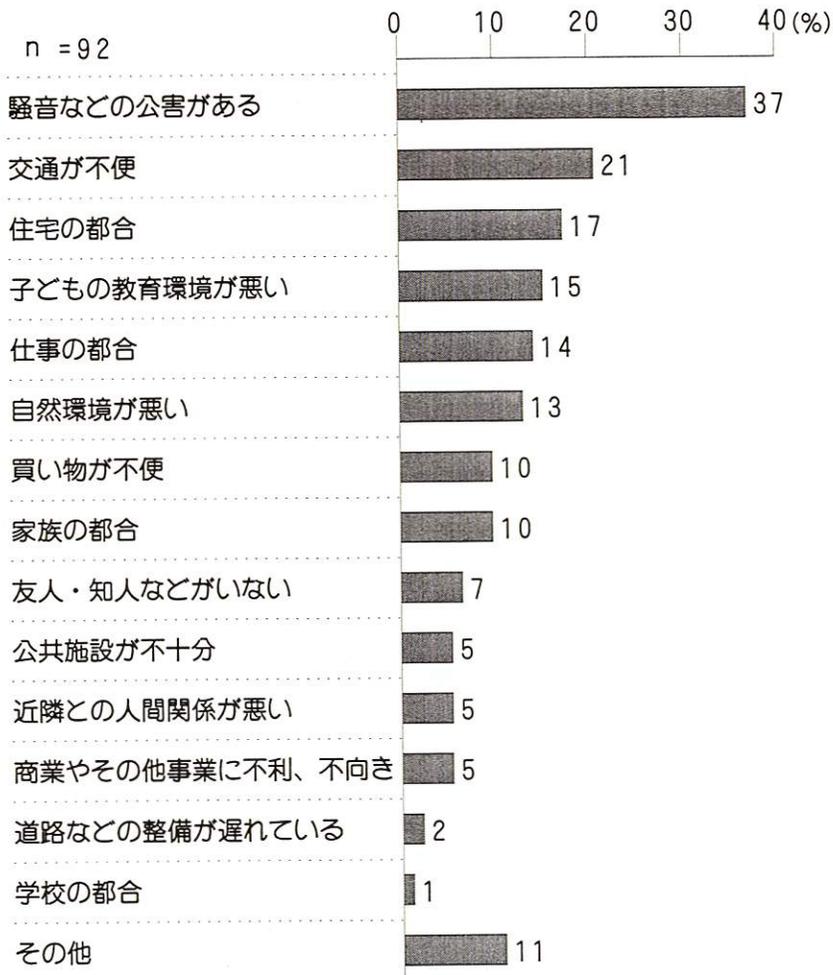


1-3. 移転したい理由

(問2で「できれば、市外に移転したい」、「移転する」と回答した方に)

問2-1. 移転したいというのは、どうしてでしょうか。この中から2つまであげてください。

図1-3-1



“移転したい”と答えた92人にその理由をたずねたところ、「騒音などの公害がある」が37%で最も多く、次いで「交通が不便」(21%)、「住宅の都合」(17%)、「子どもの教育環境が悪い」(15%)、「仕事の都合」(14%)の順になっている。(図1-3-1)